

### 会費納入についてのお願い

現在、郵便振替口座の名義の変更をしています。完了次第、会費の請求をします。しばらくお待ちください。

### 2016年度 年間行事・予定

■行事回数 ①年次大会・例会2回(可能ならば4回) ②見学会・巡検2回 ③映像の会3回 ④海外文献の会10回

■刊行回数 ①「鉱山研究」1回 ②「ニューズレター」4回

#### 2016年

4月16日(土) 年次大会・総会 渋谷区立勤労福祉会館(頁2に記載)

5月20日(金) 海外文献の会 川崎市産業振興会館

6月25日(土) 第44回 映像の会 渋谷区立勤労福祉会館

「マーガレット・サッチャー 鉄の女の素顔」イギリス, 2011年

映画「パレードへようこそ(原題 Pride)」イギリス, 2014年

7月7日(木) NL103 発行 (大会報告、映像の会・例会案内、2015年度仮会計会報告、名簿ほか)

7月28日(木) 海外文献の会

30日(土) 例会 渋谷区立勤労福祉会館

村田 淳「アメリカ、コロラド州、テルライド鉱山」

8月中旬 NL104 発行

中旬(木) 海外文献の会

9月17日(土) 第45回 映像の会 渋谷区立勤労福祉会館(予定)

中旬(木) 海外文献の会

10月上旬 NL105 発行

中旬(木) 海外文献の会

下旬（土、日） 鉾山見学会（候補地：①長登・宇部（山口県）、②尾小屋（石川県）、③延沢（山形県）、④対州（対馬）ほか

＊見学地の希望や実地可能なところがあればお知らせください。

11月中旬（木）海外文献の会

下旬 NL106号発行

12月中（土）第46回映像の会

末日 会報原稿締切（「鉾山研究」93月号3月末発行の予定）

## 2017年

1月中旬（木）海外文献の会

下旬（土）例会（報告者募集）（可能ならば）

2月中旬 海外文献の会

下旬 NL102発行

3月上旬（土、日）予定 伊豆巡検（松崎町、南伊豆町付近）

中旬 海外文献の会

3月末 会報「鉾山研究」93号発行

4月中旬（土）年次大会・総会

## 2016年度大会・総会報告

■日時：4月16日（土）13時30分～16時45分

■会場：渋谷区立勤労福祉会館2階第二和室

■参加者：6人

■日程：報告

①金丸 哲也「古書籍ボタ拾い、日本全国北から南から」

②村田 淳「ダーウィン近郊の金鉾山・オーストラリア鉾山史協会  
年次大会報告

③会員の近況報告・課題と疑問点など

■総会 2014年度運営報告・2015年度運営計画2014年度会計報告・2015年度会計予算を承認。役員選出：留任。（九州・関西・中部地区の情報担当を募集中）

・2016年度運営計画（2016年度年間行事・予定を参照）

・討議内容

①会員数の増加に努める。学生、大学院生は会費を半額にする。

②各行事ともに参加者が少なく、内容に工夫が必要。

- ③例会や大会の報告者が少ないので、報告できるひとを積極的に探す。開催方法や報告者が申し出をしやすいようにする。
- ④巡検や見学会は、希望を募り、魅力ある鉱山を対象にする。
- ⑤各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。
- ⑥「鉱山研究」には、大会、例会や見学会の報告を必ず掲載する。また非会員の原稿もできるだけ掲載し、その後入会を促す。100号は記念号にする企画をたてる。
- ⑦HPは担当の丸山さんの努力によって毎月更新しており、さらに活用を図る。
- ⑧会計報告は担当者の家庭の事情のために多忙を極めているので、仮の決算書を承認し、予算は前年度にならうが、会報の発行は予算不足となりかねないので、何とか工夫をして、2016年分の発行を予定する。

## 定例会案内

今年もアメリカ鉱山史協会の年次大会が6月9日～11日の日程で、コロラド州テルライドで開催された。それに参加した村田が大会の様子と周辺の鉱山地帯の概要をスライドを交えて報告する。

初日のツアーは、コロラド州の西端とユタ州の東部にまたがるパラドックス盆地にミネラルベルトがあり、コロラド高原ウラニューム地域と言われる、地帯を4WDで見て回った。

キューリー夫人に鉱石を提供し、日本に投下した原子爆弾の原料を供給し、スリーマイル島の原子力発電の事故をきっかけに閉山した。ラジウムは1912年から精錬所が稼働、ウラニュームは1936年から産出、バナジウムは1980年代から精錬所が稼働していた。鉱山の遺物はほとんど残っていないが、いまだに放射線が放出されるので、中心施設があったと思われるところは立ち入りが制限されている。

テルライドの鉱山地域は、盆地の中心にあるテルライドの街を取り巻く山々の氷河によってできたカールや谷、主に4つの盆地の中、標高約3,600メートルの高地ににある。最初の金の鉱脈の発見は1875年といわれ、その後の相次ぐ鉱脈の発見がラッシュとなり、テルライドの街が形成される。

1890年にデュランゴの精錬所とを鉄道で結び、さらに街から南側の山地を超えたアムスに交流水力発電所が完成し安価な電力の供給が可能になった。その結果街の北側の谷は架空索道のクモの巣を張り巡らし精錬所が整理統合され、テルライドの街は鉱山のラッシュで繁栄を遂げた。鉱山は1978年にはほとんどの操業を終えた。

- 日時：2016年7月30日(土)13時～17時
- 会場：渋谷区立勤労福祉会館第三洋室（渋谷駅下車、徒歩約15分）  
電話：03-3462-2511 住所：東京都渋谷区神南1-19-8
- 報告：村田 淳「アメリカ、コロラド州、テルライド鉱山」

2016年7月1日 村田淳記

## 海外鉱山文献読書会のご案内

丸山もとこ

原則月一回、英文で著された鉱山関連本を逐語訳で読み解いています。1996年から始めて20年、現在は5冊目のテキストを読書中です。海外の鉱山の歴史を知りたい方、英語の鉱山専門用語や言い回しに慣れたい方、一緒に勉強しませんか？

【テキスト】Spence, Clark C. *British Investments and the American Mining Frontier, 1860-1901*. University of Idaho Press, 1995. 次回は65頁から

【次回予定】2016年7月28日(木) 15:30～17:00

【会場】川崎駅の近く（参加希望者にご連絡ください）

【会費】なし ただしテキストは自分で用意してください

【ウェブサイト】<http://www.jmrs.sakura.ne.jp/reading/>

【連絡先】[jmrs.dokushokai@gmail.com](mailto:jmrs.dokushokai@gmail.com)

【注意事項】参加希望者は必ず事前にご連絡ください

## 当会ホームページをぜひご活用ください

丸山もとこ

当会はネット上にホームページを開設しています（アドレスは下記参照）。

そこでは、ニューズレター・会誌、例会・大会、見学会・巡検、映像の会、読書会などの最新情報を掲載しています。さらに「情報交換BBS」では、当会以外の鉱山関連のイベント（企画展、シンポジウム、講演会、新刊本、ツアーなど）の情報を紹介しています（アドレスは下記参照）。逆に、個々の会員が「情報交換BBS」を使って情報発信したり、記事にコメントをつけたりすることも可能です。情報（但し鉱山関連に限る）を発信したい方、記事にコメントをつけたい方は、下記連絡先までご連絡ください。記事の投稿方法についてお教えします。あるいは投稿したい内容をメールで下記連絡先までお送りいただければ、管理人が代わりに投稿することも可能です。

ぜひ当会ホームページをご活用ください。

【鉦山研究会ホームページ】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/>

【情報交換BBS】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/member/>

【連絡先】 [jmrs.hp@gmail.com](mailto:jmrs.hp@gmail.com)

### 例会報告者の募集

例会で報告していただける方を募集しています。

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告 20 分質疑応答 10 分に比べ、報告約 1 時間、質疑応答 30 分と十分に時間があり、じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉦山に関係があるものであればかまいません。金属鉦山、石炭鉦山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉦物、鉦床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

\*問い合わせ、申し込みあるいは情報などを、村田淳あるいは役員に。

## 第 13 回伊豆鉦山(松崎町)巡検予告

伊豆半島には、名前が変わり重複したものも含めて 140 の鉦山があると思われます。まさに坑だらけ、鉦山半島ともいえます。なかにはまた中世や近世に起源をもつ鉦山もあります。これらの鉦山のあり方は近代のものとはかなり違った様相をしています。

まだ訪れていない鉦山が多く残されています。鉦山の原初の姿とその成り立ちの過程をしのべます。後に大鉦山に発展したものもあります。

いままでほぼ現地を確認できる主要な鉦山を訪れましたが、今回はまだ訪れていない未知の鉦山を探しながらめぐります。

そのためには確実な下見が必要です。ご協力いただけるかたは村田まで申し出てください。

■日程：2016 年 3 月上旬の土曜日と日曜日（1 泊 2 日）

■見学場所：静岡県松崎町および南伊豆町周辺

■服装・装備：服装は丈夫で汚れてもいい上着とズボン、足元のしっかりした靴あるいは長靴。ヘルメット、ハンマー（あればよい）。

ヘルメットは巡検中被ること、ヘルメットの用意のない方は参加を辞退していただきます。

■宿泊：松崎町あるいは南伊豆町の民宿（予定）

■参加費：未定

■申込締切り：2016年2月中旬

■申込み、問合せ：村田淳 電話・FAX：(045)401-5259

メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

住所：221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

\*2016年7月7日 村田淳記

## 入会案内

「鉾山研究会」は、1973年11月に創立した、国内外の鉾山および炭礦と鉾山に係る事柄の歴史や現状についての研究を目的とする団体です。会報『鉾山研究』や『ニューズレター』の発行、研究大会、例会、鉾山の映像の会、読書会や鉾山地域の巡検や見学などを行っています。

入会資格は特にありません。分野を問わず鉾山に興味がある人でしたらだれでも歓迎します。入会希望者は、以下の宛先に入会を希望することを連絡してから、入会金なしで年会費（2016年度6000円）を送金してください。

郵便振替 00140-0-540969 金属鉾山研究会

連絡先：村田淳 phone/fax:(045)401-5259

221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

e-mail：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

**見学地の希望や実地可能なところがあればお知らせください。**

10月下旬（土、日）に鉾山見学会を予定しています。今のところ、候補地として①長登・宇部（山口県）、②尾小屋（石川県）、③延沢（山形県）、④対州（対馬）などがあがっています。ご意見、ご希望をお寄せください。

2016年7月7日 村田淳記